

日本学校音楽教育実践学会

第4回 音楽教育実践学フォーラム

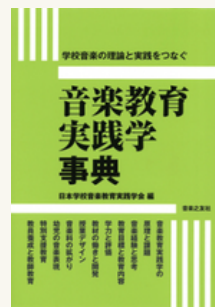
理論と実践をつなぐ「生成の原理」

日時：2026年11月22日(日)

13時～16時

場所：京都教育大学

ハイフレックス型で開催する予定



フォーラムについて

本フォーラムでは『音楽教育実践学事典』に掲載されている用語や概念を取り上げ、その理解を深めることを通して、よりよい音楽教育の創造について考える機会を提供しています。第4回となる今回は、本学会の理論的基盤のひとつである「生成の原理」（事典 pp.18-19）をテーマに設定しました。

「生成の原理」は本学会初代代表理事である西園芳信氏によって提唱された理論であり、J. デューイの芸術的経験論を基盤に構築されたものです。この理論は、音楽科における学びの本質をとらえるための重要な教育原理として位置づけられてきました。また本学会がこれまで取り組んできたカリキュラム研究、伝統音楽教育研究、資質・能力研究、教科内容研究などの課題研究においても、その理論的支柱として機能してきました。

音楽科において育成すべき資質・能力や教科内容がより具体的に論じられるようになってきた今だからこそ、原点に立ち戻り、「生成の原理」についての理解を深めるとともに、実践における具体的な姿について皆様とともに考えていきたいと思います。

お申し込みはこちらから



問い合わせ先

高橋詩穂(畿央大学)
shihojassme@gmail.com

concept of the generating of music